



## 私の大原ベストポジション

# 大原草紙



第77号  
令和3年10月  
秋季号

### 江文神社

戸寺町 本田優生



初めて江文神社を訪れたのは、今からもう10年以上前のこと。当時は上高野の実家に住んでおり、左京区周辺の山々を、カメラをぶら下げて散策していました。その日は寂光院の奥から入山。たまたま下山したのが江文神社の参道でした。参道を降っていくとバス停、登っていくと神社です。もうすぐ日没、もともと神社に立ち寄る予定はなかったのですが、何かに導かれるように参道を登っていきました。鳥居の前で一礼し、進むと大木が迎えてくれます。見上げるしかない大木たち。二枚シャッターを切らせていただき、さらに奥の境内へ。薄暗い中、緊張感が高まります。社殿と対峙。その威厳に、カメラを向けることができず、その日の山行が無事であったことに対するの感謝と、また来ることを伝え、その場をあとにしました。

それから数年、大原へ移住。まず、挨拶に行ったのは江文神社でした。移住一年目からお神輿を担がせていただき、八朔踊りにも参加させていただきました。そして、ようやく社殿にカメラを向けさせてもらっています。掲載写真は、初めて江文神社を訪れた時に撮影した二枚のうちの一枚。少しブレています。

私たち里づくり協会の各種活動も新型コロナウイルスの影響から報告すべき活動は休眠状態。毎月開催の定例理事会を開くのみです。

昨年はコロナ禍の中でも9月17日神戸市北区山田地区からの視察受け入れなど、10月まで7回の各種行事が実施されたが今年では中止延期ばかり、それだけコロナの感染拡大が深刻です。

大原草紙原稿締め切りの迫った9月上旬。

9月3日朝刊一面トップ見出し

「菅首相、一階氏に出馬伝達」

(党総裁選挙)

9月4日朝刊一面トップ見出し

「菅首相 退陣へ」

(党総裁選挙断念)

新型コロナウイルスの感染拡大による総理大臣の辞任は昨年の安倍首相に続き二人目と新聞は報じています。

当里づくり協会と大原伝統文化を守る会の共催で、復活し執り行ってきた恒例の行事、10月10日(日)

「惟喬親王伝説ゆかりの地の集い」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止し、勝林院輪番住職、寶泉院藤井宏全師のお勤めのみと致します。

第4回

大原提言大人編

京都大原学院9年生の「大原提言発表会」に刺激されて始まった大人編も四回目。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年も書面による発表会となりました。今回は子育て中の若いお母さん方三名です。

9年生の提言も含め、実現の可能性を探って行きます。

農村に生きるための仕事と暮らし ～やりがい搾取しないための労務管理の提案～

株式会社ヴィレッジ  
トラストつくだ農園  
小出石町 渡辺民



いま、私たちの農園に農業で独立したいから研修させて欲しいと、若い人から早期退職者、途中退職者などさまざまな経歴の人たちがやってくる。目的と希望とやる気を持った人が集まってくるが、けっして彼らのやる気を利用してはいけなさと肝に銘じている。農業は、農家に教わらないとなかなか身につかない仕事だと思ふ。そのため、労使間のバランスが崩れやすいとも感じている。わかりやすく言えば、師匠となる農家の言うことは絶対正しくて従わな

くてはいけないという状況になりやすいということだ。少し前まで、研修生は無償で労働に従事することもままあった。働く側も、教えてもらっているのだから、とその状況に甘んじる場合も多いだろう。

私たちの農園の労働条件は、アルバイト正社員にかかわらず1日7時間、週休2日、義務有休は必ず消化、昇給や一部の正社員のみではあるがボーナスも出る。いまは取得する対象の従業員はいないが、産休育休介護休も取得可能である。中小企業や大企業では当たり前の労働条件だが、農業だけでなく、すこし郊外や山間地の小さな事業体でも当たり前前にしていかなければならないのではないか。

労務管理は、従業員にばかり恩恵があるのではない。雇う側にも仕事に向き合う時間の管理や心の余裕が生まれる。つつい働さずしてしまいう農家でも、常々定期的に休んでいんだという空気が生まれる。アルバイトか正社員かにかかわらず妊娠、出産、介護など、人生に関わる重大ごとがあったら補償を受けながら休めばいいのだというのは大きな安心ではないだろうか。そうして休める環境づくりを整えておけば、農村地域だからこそある暮らしのなかのしごと、草刈りや水路掃除、町内行事、神事など人手や後継不足が言われる地域行事の部分にも時間が割

ける。私たちのところというところ、5時に仕事を終えた従業員たちはその後、子育てする人、地域の水路を補修する人、自分の管理する畑でもう一仕事しているという人もいる。仕事と暮らし(地域行事など)がつながる農村で生きるためにこそ、自分たちを含め働く現場に搾取のない労務管理を導入することが大切だと常々考えている。

サステナビリティ再び

in 里山大原

草生町 大平直美



「Shinrin・Yoku」という言葉が世界的ブームになっている。森林にも温泉のように癒しや健康増進効果があるとされるからだ。自然遊びブームもわかり。人は自然の一員として、美しい森や川で心が洗われるようだ。それはトカイナカ(都会に近い田舎)への移住希望増加傾向にも現れている。

一方、近年注目せざるを得なくなった地球環境や災害。人類の存続という仰々しいような課題が個人にすらリアルに感じられる今日この頃。ひよっとしたら、その解決のひとつの道標となるのが、「森とともに暮らす」ことではないか。それ

できつと、長い歴史の中で大原が歩んできた事ではないだろうか…。

大原の美しい自然、人々の観智、伏流水と地下水の上下、都会に近い立地。絶好の条件が揃っている。

キーワードは「持続可能性（サステナビリティ）」と「多様性」。具体的には：

● 民家沿いの支障木（危険木）の伐採。林業から「森林業」へ。

↓人の入りやすい明るい落葉広葉樹林帯へ。「防災。子どもも大人も遊び、出入りする自然へ。獣害対策。」

↓間伐材を生活に活用。自然エネルギー活用。畑。

● そんな生活を実体験できるお宿「田舎のおばあちゃんち」

● 開拓した森の境目で牛などの放牧もおもしろそう！（滋賀県で実例あり）「獣害対策。防草。昔懐かしの大原、牛のいる風景！？水牛じゃないけど…」

● 森の幼稚園や保育園の設立運営。「待機児童緩和。人口増加。子育て、子育て。次世代の育成。」

● 財源は、環境譲与税の活用！？企業の社会的責任（CSR）の活用！？柔らかなビジネス構造を模索！？

「本当は日本の川が世界で一番いいんだ」（世界的カヌーイスト野田知佑さん談）。諸外国の森林関係者も羨む豊かで多様な日本の森。その森とともにある里山大原がありし日

のサステナビリティへ新たな形で回り、世界のモデルとなる可能性を考えるとわくわくする。

『多様性』池田憲昭著、『土中環境』高田宏臣著、「大地の再生」矢野智徳さん談。ぜひご一読を。そして一緒にますます心地いい大原を守り創っていったら素敵だなーと思います。

### 「通える里山」の魅力を活用したい

戸寺町

山本(西山) 安佳里



昨年3月に大原戸寺町へ家族4人で移住してきました。大原での1年は本当にあつという間でした。1年暮らしてみて「大原は都市部から、(京都の市街地に住む人が思ってるより)近い！」ということを改めて実感しています。車で35〜45分もあれば中心地との行き来は可能で、バスも20分に1本あります。大原は正に「通える里山」です。

私はフリーランスのデザイナーで、家がメインの職場ですが、頻繁に町中へも通って coworkingスペースを活用したり色々な場所で仕事をしています。私がしてる逆ができる場所、多様な働き方を可能にする、選択肢の1つとして「大原」があっても良いのではと思っていま

す。大原にそんな「場」を生み出したい。それが私の大原提言です。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、場所に縛られない働き方を導入する企業も増えていきます。打ち合わせの多くがオンラインに移行し、Wifiがあればどこでも仕事ができます。毎日通うシェアオフィスじゃなくても、月に数回、週に1回でも気分転換も兼ねて、敢えてONな仕事モードを“OFF”にして働ける場所が世の中の的にも求められています。

以下は、そんな「場」で叶えたい妄想です。

- 1 nest work 休息・余暇しながら働く (Wifiと机と椅子)
- 2 不定期でイベントを行える
- 3 個展ができるアトスペースになる
- 4 菜園があり、自由に畑仕事ができる ↓収穫祭・みんなで囲む食卓
- 5 期間限定〇〇さんの本棚。だれか選書の本や、思考に触れられる。知識は力 Knowledge is power
- 6 フラツと、仕事のこととか相談しあえる
- 7 こどもが近くで遊びながら、仕事もできる
- 8 ダンススタジオになったり、映画館になったり、絵画教室になったり…大原に学びを引っ張ってこれる
- 9 美味しいコーヒーが飲める
- 10 私の事務所  
単純に人口が減っても、関係人口

が多ければ、持続可能な町になります。農家さん・里の駅・野菜を軸とした関係人口はすでに大原の強いチャネルです。新たなチャネルをそんな「場」を通して生み出したいです。誰か場所を貸してくださいませんか？

### 無料で譲ります

問合せは編集部・西田まで  
090-4649-0633

### オムロン製 体重体組成計 KaradaScan HBF-900

体重・体脂肪率・内臓脂肪を測ることができます。置き物で一度も使っていません。新品。



### トヨタ製 石油ファンヒーター NLC-32E2

石油臭で狭い脱衣場には不向き。あまり使ってません。新品同様。





れんさいマンガ  
\* 76 \*  
アズマツネオ



■投稿者..  
坂井(石川)奈都子

新しい住人です



8月末に西陣から井出町に転入した坂井です。撮影の仕事で大原へ来るたびにお住まいの方々の風土の魅力に触れて心惹かれてきました。たくさんの方にお世話になり、この度ご縁のあった借家に住まわせて頂くことになり感謝の気持ちでいっぱいです。

兄弟、  
穏やかな夫(隆夫)と好奇心旺盛な妻(なつこ)、愛犬りんたの賑やかな家族です。(写真業は旧姓で活動しています)。建築家の夫にいつか大原で改築してもらった家に住むのが夢です。引き続き終の住処となるような家を探しながら、大原に馴染んでいくらと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

※WEB版ではお子さんのお名前は非表示としています



営業：土曜・日曜  
11時～16時位  
住所：来迎院町 275  
(旧同志社大学施設 農縁館 隣)

大原朝市の出店者3人が農ではじまる縁を大切に大原の有機野菜の販売や地元食材と小浜の海産物で作った惣菜のテイクアウトができるお店をオープンしました。ハーブティーやドライフラワー、雑貨なども購入できます。

のうえんど  
農縁土



この秋オープン



大原リバーサイド  
カフェ来隣  
Kirin lab.



営業：11時～16時位  
火曜定休  
住所：来迎院町 114

大原リバーサイドカフェ、スィーツをテイクアウト出来るお店『キリンラボ』をオープン。大原の季節野菜とイタリアのチーズや生ハムを使ったパニーニや、日替わりのお惣菜やスィーツをご自宅で楽しめます！

PICNIC OHARA



自然を感じながら飲食いただけるピクニックフィールドです。大原バス停横の階段を下りてすぐの畑、キッチンカーが目印。季節ごとのフードとドリンクをお楽しみください。ここではか飲めないオリジナルクラフトビールもどうぞ。

住所..  
〔ピクニックフィールド〕  
来迎院町89  
〔店舗〕来迎院町73-2  
(旧 和田酒店)

表紙の横顔

本田優生さんのプロフィール

昨年、長女が大原学院に通うようになったことで、大原で生活していることをより強く感じるようになりました。大原の自然と人に感謝して日々を過ごしています。2017年、子育て環境とサワガニを求めて大原に移住。写真事務所あかつき写真所属。カメラマン。一姫二太郎の父親。

## 私の大原探究！

1

自然を大切にしている  
↓  
大原辻しば漬け本舗  
↓  
どのように自然を大切にしている？

2

### 職業体験の感想

- ・ ラベル貼りでは
- ・ なす送りでは
- ・ 何をすればいいかわからないとき
- ・ 立ちっぱなしのとき
- ・ 挨拶をするとき

3

### 学習問題に対して分かったこと

大原で育てているしそを使っている  
大原のしば漬けを残していきたい

4

**現状** 1. 大原のしば漬けを引き継ぐべきだと思いますか？

○はい 15

●いいえ 0

**問題点** 2. 将来、しば漬け屋さんで働きますか？

○働きたい 0

●働きたくない 15

5

### 提案

働きたい人がいないという現状を知ってもらう

- ・ アンケート結果を共有する
- ・ ポスターを作る

6

### 実現した時の効果

現状を知ることによって危機感を感じる人が増える

↓

自分が受け継がなければならないと思う人が増える

↓

大原の伝統が守られる

## 2月の日々 寒中忙有り

その3

西田 誠

## 若狭街道大原～小浜 方言比較

朽木村史をまとめられた石田さんから戴いた「鯖街道文化圏の方言比較表」から抜粋しました。昔の人々が街道を共有して文化も共有。言葉も伝統行事も都を中心に広がったのでしょうか。“ほっこりする”が近年全国語的？に「心休まる」ように使われていて、少し違うが…と思っていたが、若狭街道筋では「疲れた」が共通語、ホッと一安心しました。\*各地区の方言は聞き取り調査に基づく

	標準語	小浜市 遠敷地区	朽木針畑地区	大津市葛川地区	京都市大原地区
動詞	転げ落ちる	まくれる	まくれる	まくれる	まくれる
	(雨が) 止む	あがる	あがる	あがる	あがる
	荷う	かたげる・せたらう	かたげる	かたげる	かたげる・せたらう
	分配する	わける	わける	わける	わける
	なだめる	たらかす	たらかす	たらかす	たらす
	しゃがむ	かがむ	つくなる	ちょこぼる	かがむ・ちょこなる
	疲れた	ほっこりした	ほっこりした	ほっこりした	ほっこりした
	仕返しをする	あたんする・あたんこする	あたんする	あたんする	あたんする
名詞	〇〇谷	〇〇たん	〇〇たん	〇〇たん	〇〇たに
	空洞	うろ	うろ	うろ (川の)	うろた
	お母さん	おっかん	おかちゃん	おかあ	おかあ
	おやつ	なんぞ	なんぞ・小屋	なんぞ	なんぞ
	分家	いんきょ	いんきょ	いんきょ	いんきょ
	牛小屋	うまや	うまや	うまや	うまや
	正座	おっちん	おっちん	おっちん	おっちん
	あぐら	ぎっと	じょうこ	じょろこ	じょろこ
	におい	かざ	かざ	かざ	かざ
	私〈女〉	わし・うちら	うら	うら (女言葉)	うら・うち
	お手玉	こんめ	こんめ	こんめ	こんめ
	囲炉裏	どばた	ゆるり	――	いろり
	まっさかさま	もんどり	とんぶり	さかたんぶり	もんどり・さかとんぼり
	はったり	おおげさ	やまこ	やまこ	やまこ・おいとばあ
	緩やかな山道	――	ゆる	ゆる	ゆり
形容詞・副詞・接続詞など	明るい	あかい	あかい	あかい	あかい
	荒っぽい	あらくたい・あられない	あらくたい	あらくたい	あらくない
	うらやましい	けなるい	けなるい	けなるい	けなるい
	無茶苦茶	――	むさんこ	むさんこ	むさんこ・ごりおし
	かまわない	だんない	だんない	だんない	だんない
	適当に	ほどほどに	ほどほどに	ほどほどに	ほどほどに
	さあてと	こーっと	こーっと	こーっと	こーっと
	すばやく	こうばいよう	こうばいよう	こうばいよう	はしかい
	あじない	あんない	あんない	あんない	あんない
	柔らかい	しなこい	しなこい	しなこい	やこい